

平成 30(2018)年度 栃木県環境マネジメントシステム(EMS)の全体評価について

H31(2019).3.20 地球温暖化対策課

栃木県環境管理マニュアルの規定に基づき、今年度のEMSの運用状況、内部環境監査及び外部評価の結果を踏まえ、知事(環境管理統括者)による全体評価を行い、次のとおり改善指示を行うもの。

1 対象期間 平成 30(2018)年度 (平成 30(2018)年4月～平成 31(2019)年3月)
適用組織 全庁 309 所属

2 全体評価
「概ね適切」

3 改善指示

次のとおり全庁に改善を指示すること。

- (1) 各所属で適用を受ける環境法令等は、その改正状況も含めて正確に把握した上で、遵守すること。
- (2) 各所属におけるエネルギー使用量等については、その増減理由と合わせて常時把握し、適切な対応をとること。
- (3) 中長期的な視点に立った計画的な省エネ改修や高効率機器の導入、燃料種転換について検討すること。
- (4) 次年度のEMS運用に当たっては、以下に留意すること。
 - ① 一部の所属において、産業廃棄物、毒劇物・化学薬品及び危険物の保管状況や掲示板に不備が見られたので、早急に改善すること。
 - ② EMSの継続的改善を円滑に図るために、各所属における取組の成果を職員に広く周知すること。
 - ③ 環境に重大な影響を及ぼす可能性のある事務事業を所管する所属においては、緊急事態への準備として、定期訓練の実施等その他、早期対応体制の整備に努めること。

なお、引き続き、職員一人ひとりが節電・省エネ及び省資源の取組を自主的に行ない、県庁の温室効果ガス排出量抑制を図るとともに、PDCAサイクルによる継続的な改善により、環境負荷の低減に努めること。

(参考) 平成 30(2018)年度のEMSの取組状況

項目	取組状況	備考
所属目標の達成	<ul style="list-style-type: none"> 全所属において所属目標を掲げ、実施計画を作成し、取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主な所属目標 電気使用量の削減 用紙使用量の削減 廃棄物排出量の削減
実績の自己評価 (中間評価)	<ul style="list-style-type: none"> 概ね適正 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度上半期の傾向 今年度全庁目標 電気使用量 前年比3.2%減少
環境法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 概ね適正 	<ul style="list-style-type: none"> 適用される環境法令数 51
県民からの要望・苦情	<ul style="list-style-type: none"> EMSに関するものなし 	
自己点検による是正措置	<ul style="list-style-type: none"> 報告事例なし 	
内部環境監査の結果	<ul style="list-style-type: none"> 要改善（是正措置要求） 0件 注意（口頭） 2件 	<ul style="list-style-type: none"> 注意（口頭）事項（重複あり） 所属目標（水道使用量削減）未達成
外部評価の結果	<ul style="list-style-type: none"> 全体として概ね適切である 	<ul style="list-style-type: none"> EMS 外部評価委員による書面監査及び現地調査 外部評価委員 3名 現地調査実施 18 所属
前回の改善指示への対応	<ul style="list-style-type: none"> 6件全て対応済み 	<ul style="list-style-type: none"> 前回の改善指示事項（重複あり） 特別管理産業廃棄物の掲示板の不備 毒劇物取締法に基づく掲示 PCB 廃棄物の漏油対策 PCB 廃棄物への PCB 含有率の表示 PCB 廃棄物の掲示板の不備